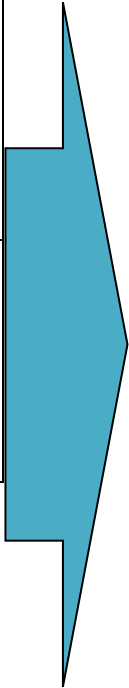


令和6年度 授業改善推進プラン【5年】

小平市立小平第十四小学校

振り返りの視点			児童の実態	指導上の課題
学校経営目標（短期）	学力向上	主体的・対話的で深い学びの実現	○交流を通して、自己の課題解決に向かうことを意識している。 △根拠を基に自分の考えを表現する力を付ける。（校内研究）	・課題に対して、意欲的に取り組めるような導入の工夫。 ・1 単位時間に「何が分かったか」、「どう考えたか」などの観点を示した学習の振り返り。 ・根拠を基に自分の考えを表現する場の設定。
		基礎学力の定着	○明確なめあてをもって学習している。 △基礎学力に個人差がある。	・漢字テストに向けての反復練習。配当漢字の定着を図る。 ・学習者用端末を活用した、基礎計算力の向上。 ・朝学習の時間などを活用する。
		体力の向上 運動への関心・意欲の向上	○めあてを意識して運動に取り組んでいる。 △運動の経験が不足しているため、体力の向上を図っていく。	・不足している運動経験を補うよう多様な動きを取り入れる。 ・一人一人が課題をもって運動に取り組めるような体育ノートの活用。
	健全育成	道徳教育の推進	○いじめを許さない意識をもち、行動を見直している。	・道徳科の授業を中心に、思いやりをもった態度の育成、実践。
		異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進	△集団生活や遊びの中で、自主的にルールを築いたり、自治的な活動を進めたりしていく。	・児童に課題意識をもたせた自治的活動の推進。



教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
国語	1 「書く」活動の継続 2 学校図書館の活用 3 効果的な学習端末の利用	・年間を通して計画的に書く活動を取り入れる。 ・読書の時間を確保したり、調べ学習等を行ったりすることを通して、図書に触れる機会を増やす。 ・プレゼンテーション発表を授業に取り入れる。	
社会	1 資料の読み取り（情報収集・整理分析）の充実 2 用語を適切に活用した意見の交流 3 表現の仕方の習熟	・ <u>グラフなどの資料を正確に読み取らせ、読み取ったことを基にして、自分の考えを表現させる。</u> ・友達と考えを交流させることを通して、多様な見方・考え方に気付かせるようにする。	
算数	1 問題解決的な学習の充実 2 ノートの取り方や発表の仕方の定着 3 四則計算の習熟	・既習事項を生かして解決の見通しをもたせ、 <u>児童一人一人が自分の考えをもてるようにする。</u> ・自力解決した方法を式、図や言葉で表し、自分の考えを説明したり、相手の解決方法を読み取ったりする場を設ける。 ・毎時間、計算練習の時間を設定し、 <u>簡単な四則計算の習得・定着を図る。</u>	
理科	1 問題解決的な学習の充実 2 考察をする力の向上 3 観察・実験（器具操作）の習熟	・問題・予想・実験・考察・結果の段階を踏まえる。 ・既習事項と関連させたり、友達との対話を通して、 <u>多様な考えに触れたりして、科学的に考察をする力の向上を図る。</u> ・安全に配慮しながら、 <u>実験器具を正確に扱えるようにする。</u>	
音楽	1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実	・ <u>歌詞の意味や、強弱・速度を表す記号に着目しながら表現方法を様々に試す時間を設定し、思いや意図を言葉や音楽で伝え合って表現する。</u> ・ <u>旋律の動きを線で可視化したり、様々な楽器の音色を知って聴きわけたりする活動を通して、曲想の変化と音楽の構造の関わりに目を向ける。</u>	
図工	1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	・ <u>様々な表現方法や素材に総合的に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高める。</u> ・ <u>作品を鑑賞し合うことで、他者の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かす。</u>	
家庭	1 よりよい生活のための実践（生活の見直し・気付き）	・ <u>基礎的なことを確実に身に付けさせ、家庭でも継続して実践できるようにする。</u>	
体育	1 運動量の確保 2 全員が運動する楽しさを味わえるようにする。	・一単位時間の学習の流れの提示を行う。 ・一人一人が自分の課題を明確にすることで、 <u>運動が苦手な児童も意欲的に取り組めるよう、場や用具、ルールなどを工夫し、運動の楽しさを味わわせる。</u>	
外国語	1 学習展開のスタンダード化 2 小・中連携の強化	・状況設定→表現練習→受け答え練習→会話での交流のように、 <u>一連の学習展開に見通しをもたせ、主体的に学習できるようにする。</u> ・中学校と同じノートを使い英語に慣れ親しむ活動の導入を行う。	
道徳	1 道徳ノートを活用した授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成	・ <u>道徳ノートを活用し、自分の考えを書いたり、振り返りの習慣化を図ったりする。</u> ・学期に1回、生命尊重やいじめ防止を扱った授業を行う。	
総合的な学習の時間	1 探究的な学習の推進 2 地域参画型学習の充実	・身に付けるべき能力を明確にして、 <u>探究的な学習活動を計画的に行う。</u> ・「スライド」を活用し、記録・まとめを行い、表現する力を付けさせる。	
学級活動	1 児童の自主的、実践的な活動の充実 2 きょうだい学級の関わり	・ <u>折り合いをつける集団決定など、児童の自主的、実践的な活動を継続して行う。</u> ・全校遠足や十四小まつり、十四小タイム等で異学年交流を行う。	